



2019年 8月28日  
第18号

JR 東労組   
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣部

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



# 南武線運輸関係基地再編成について提案受ける

## 提案内容

- (1) 川崎運輸区（仮称）を設立
- (2) 鎌倉車両センター中原支所（仮称）を設立
- (3) 矢向車掌区を廃止
- (4) 中原電車区を廃止

実施日 2020年3月

\*具体的な実施日については、決定次第お知らせする

## 8月26日、南武線運輸関係基地再編成の提案を受け、

組合) 南武線の基地再編成は数年前から計画がされている。これまで横浜支社内では運輸区の設立は行われており、南武線の運輸区が最後となる。これまでの成果を活かしたものにしてほしい。また、会社施策の現場説明で提案内容の再説明が発生した。このようなことないようにしてほしい。横浜地本として成功に向けて取り組んでいく。

会社) 2009年から実行計画で周知しており遅れている認識はない。成案となり今日の提案となった。今回の南武線運輸関係基地再編成でより良いものにしていく。

## 提案での横浜支社との確認

- ① (仮称) 川崎運輸区の社員規模は、乗務員では中原電車区150名・矢向車掌区120名・管理者・内勤で300名規模となり、相模原運輸区と同程度になる
- ② 運輸区の庁舎の箇所は、旧夢庵の場所になる。
- ③ 女性設備についても整備していく。また、外泊地における順次整備していく。  
女性社員の規模・配置は決まっていないが設備に不足がないように整備していく。
- ④ (仮称) 鎌倉車両センター中原支所の業務内容は、現行と同じ機能保全など変わらない。  
車両の所属・管理も中原支所と考えている。
- ⑤ 現在の中原電車区の庁舎など設備の改良は、運輸区発足以降に間内改良・耐震補強工事など行っていく。
- ⑥ 矢向車掌区の設備については、休養室の間内改良工事を行う。建屋などをどうするのかは、詳細は決まっていない。
- ⑦ 社員説明については、提案以降各区所で行うこととなる。  
当該の3区所（中原電車区・矢向車掌区・鎌倉車両センター）秋の面談や訓練等で丁寧に説明していく。
- ⑧ 工事の進捗状況は、計画通り推移している。
- ⑨ 具体的な提起があれば、真摯に取り扱っていく。

**提案を受け、関係分会の組合員との議論で  
解明交渉・基本交渉へと要求をつくり出していきます！！**